

街角サロンを設置し数多くの催しを開催。幅広い層の利用があり来街者増につながる

## 大山商工会

機関名	大山商工会			
所在地	富山県富山市上滝 387-4			
電話番号	076-483-1420			
地域概要	(1)管内人口 大山地域 12千人	(2)管内商店街数	4商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	1	(2)会員数	20商店
	(3)空店舗率	15%	(4)大型店空き店舗数	0
	大山中央商店街			
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街			

### 【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（高齢者等交流施設）

- ・高齢者等交流施設「よってかれ家」の設置、運営
- ・施設を活用した各種交流会、展示会等の開催

総事業費 4,647千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

富山県上新川郡大山町は、平成17年4月1日に富山市、八尾町、大沢野町、婦中町と、山田村、細入村が合併し新たに「富山市」となった。合併後の人口は419千人、そのうち旧大山町の人口は12千人である。

合併以前の平成15年度において旧大山町の商工会は、富山市への購買流出等により町内の商店街が衰退してしまっていることから、空き店舗を活用してコミュニティ施設を整備し賑わいの創出に取り組んだ。

2年目にあたる平成16年度も、引き続き同施設を活用した各種事業を実施した。



富山市の位置（富山市 HP より）

#### 2. 事業内容

平成15年度に大山中央商店街の空き店舗を活用して設置した、「街角サロン よってかれ家」を拠点として賑わいを創出し商店街の活性化を図ることを目的に、子育てサロン、健康相談、ふれあい会食会、各種体験教室などの交流会等を実施した。

平成15年度に実施した交流会等に加え、平成16年度より新たに「どんとこい夏祭り」と「囲碁サロン」を開催した。

(1) 交流会等の実施状況

①いきいき大山「食まつり」

大山町中央商店街を中心とした、いきいき大山「食まつり」を開催した。

開催日：平成16年10月9日（土）11時～15時

内容：お茶会、絵画展示会、ミニ健康フェスティバル、特産品販売等

②どんとこい夏祭り（平成16年度新規）

大山町中央商店街と「よってかれ家」を利用しているカラオケ、民謡、なかよし会の各グループが協力し、カラオケ大会や餅つき等を実施して夏祭りを盛り上げた。

③子育てサロンの開設

入園前の幼児を対象としたサロンを開設し、幼児が楽しめるリズム体操や歌、親同士の交流を図る会食会などを実施した。利用者の中から、子育て支援のボランティアグループ「ステップ マミー」が誕生し今後の活動が期待される。

【実績】（毎週火～金の週5日）

- ・登録者数 36人
- ・延べ利用者数 452人

④健康相談・健康講座等の開催

高齢者を対象として、月1回程度実施した。健康相談の講師は保健センター職員に依頼し、各種健康講座は別途外部講師に依頼した。

【実績】（合計12回実施）

- ・延べ参加者数 223人

⑤会食会の開催

高齢者を対象とした会食会を開催し、大勢で食事をしながら交流を深めた。

【実績】（合計15回実施）

- ・延べ参加人数 768人



「会食会の様子」

⑥園芸・パソコン等各種体験教室の開催

園芸教室、パソコン教室、料理教室、クラフト教室など様々な体験教室を開催し、高齢者同士の交流を深めた。

【実績】（合計31回実施）

- ・延べ参加人数 759人



「各種体験教室の様子～園芸教室（左）、パソコン教室（中央）、クラフト教室（右）」

⑦作品展示・映画祭等の開催

展示コーナーにおいて児童・学生の作品展示、絵画、写真等の展示会を開催した。町民からの作品展示希望者が非常に多く、イベントコーナーにおいても展示を行った。(合計 27 回、1 回 2 週間の目安で実施)

また、ボランティアグループ等の協力を得て、高齢者及び児童を対象として映画祭を実施した。

【実績】(映画祭 合計 24 回開催)

・延べ鑑賞者数 494 人

⑧商店街や町内の催事情報の提供

商店街や町内の催事情報の掲示や、観光パンフレットを置いて町の情報提供を行った。

⑨囲碁サロンの開設 (平成 16 年度新規)

常時囲碁用具を配置し、いつでも囲碁が楽しめるサロンを開設した。町内の囲碁愛好家により毎週水曜日と木曜日に小学生を中心に囲碁指導を行った。

「街角サロン よってかれ家」の月別来場者数推移

月	平成 15 年度			平成 16 年度		
	日数	来場者数	特定要因	日数	来場者数	特定要因
4 月				26	1,397 人	
5 月				24	1,183 人	歩こう会
6 月				27	1,636 人	快適フェア
7 月				27	1,544 人	
8 月				23	1,474 人	
9 月	10 月 11 日オープン			26	1,347 人	
10 月	18	1,057 人	開店日 300 人	26	1,758 人	食まつり
11 月	26	1,246 人		26	1,241 人	
12 月	24	1,067 人	餅つき、福引	23	1,195 人	餅つき
1 月	23	839 人		23	1,016 人	
2 月	25	1,309 人		24	1,123 人	
3 月	26	1,170 人		27	1,500 人	(予定数)
合計	142	6,688 人	1 日平均 47 人	302	16,414 人	1 日平均 54 人

【 効 果 】

1. 来街者の行動

平成 16 年度のコミュニティ施設「街角サロン よってかれ家」への来場者数は年間 16 千人を超え、1 日平均で見ても昨年を上回った。この集客により商店街への来街者が増加し、商店街の活性化につながった。

## 2. 地域住民の協力

商工会の地域活動が住民に理解され、施設における事業運営のお手伝い等、多くの住民の方々のボランティア協力があつた。

## 【 課 題 ・ 反 省 点 】

### 1. 事業費の確保

コミュニティ施設として運営され、収益事業が困難であるため補助事業が終了した後の事業費を如何に確保するかが課題である。

### 2. 商店街との連携

来館者はオープン以来順調に増加しているが、来館者が商店街を回遊する比率は決して多いとはいえない。「よってかれ家」が商店街と消費者との仲介役となり、商店街と緊密に連携しながらソフト事業に取り組んでいく必要がある。

### 3. 人的体制

施設を利用して数多くの事業を実施していくには人手が必要とされることから、商店街が中心となって町内関係団体やボランティア団体との連携強化を図り、将来的にはNPO法人による施設運営を考えたい。

また、今回パソコン教室や園芸教室の開催にあたって地元の学生と連携を図っている。今後さらに学生との積極的な交流を図り、商店街活動にどのような形で参画してもらえるかを検討していく必要がある。

## 【 関 連 U R L 】

大山商工会 <http://www.shokoren-toyama.or.jp/~ooyama/>

「よってかれ家」 <http://www.shokoren-toyama.or.jp/~ooyama/tokusan/set.html>